

令和4年度 あきたスマートカレッジ G講座内容報告



**北条常久特別企画講座 ～昭和時代Ⅲ 秋田県の芥川賞と直木賞～**

文学博士・北条常久が秋田県に関わる芥川賞と直木賞の受賞作家を取り上げる講座です。時代背景とともに文学とその舞台に迫ります。

**有料講座  
(1回440円)**

日		時		テ	マ	講	師
G1	6/4	(土)	10:00~11:30	オリエンテーション	芥川賞・直木賞の誕生と歴史	秋田県生涯学習センター シニアコーディネーター	北条常久
G2	6/25	(土)	10:00~11:30	第54回1965年(下半期)芥川賞受賞	『北の河』 高井有一と角館	秋田県立大学総合科学教育研究センター センター長・教授	高橋秀晴氏
G3	7/16	(土)	10:00~11:30	第1回1935年(上半期)芥川賞受賞	『蒼氓』 石川達三『蒼氓』とその時代	秋田大学 教育文化学部 准教授	山崎義光氏
G4	8/27	(土)	10:00~11:30	第3回1936年(上半期)芥川賞受賞	『コシャマイン記』 鶴田知也と北海道	秋田工業高等専門学校 人文科学系 教授	石塚政吾氏
G5	9/24	(土)	10:00~11:30	第54回1965年(下半期)直木賞受賞	『虜愁記』 千葉治平と田沢湖	秋田県生涯学習センター シニアコーディネーター	北条常久
G6	10/22	(土)	10:00~11:30	第98回1987年(下半期)直木賞受賞	『それぞれの終楽章』 阿部牧郎と花輪		
G7	11/19	(土)	10:00~11:30	第99回1988年(上半期)直木賞受賞	『凍れる瞳』『端島の女』 西木正明と北海道		
G8	12/17	(土)	10:00~11:30	第41回1959年(上半期)直木賞受賞	『馬淵川』 渡辺喜恵子と岩手		

**G1** 全8回の初回として芥川賞に関わるオリエンテーションとして、北条シニアコーディネーターがプロローグとしての講話を担当しました。特に「或旧友へ送る手記」として芥川龍之介の「遺書」を取り上げ、芥川の思い悩む様子が解説されました。また、友人の菊池寛による芥川・直木賞制定までの経緯についても紹介されました。

**G2** 高井有一氏と高橋秀晴氏の深いつながりを感じさせるエピソードが講演の中で多く紹介されました。「北の河」執筆の背景として、高井氏の母親に対する思いと郷土観にふれながら同氏の人生観、文学観について述べられました。

**G3** 前段では受賞作品である「蒼氓」を発表する前後、石川達三氏がどのような経歴をたどってきたのか年表を用いて説明されました。特に、日本からの移民に関わる近代史の紹介や「蒼氓」はブラジル移民船へ乗り込んだ際の体験と見聞に基づきながら、多くの家族の群像を描いていることが述べられました。後半はルポルタージュについて取り上げられ、国際化や戦争、日本政府の国策等社会的関心がどのように表現されてきたのか事実、史実との相違点にふれられました。

**G4** アイヌの酋長コシャマインの戦いと死を描いた「コシャマイン記」の概要と章ごとに小見出しを付けながら作品の詳細内容が紹介されました。また、第3回芥川賞の選考委員による評と鶴田氏の受賞後のエッセイや伊藤永之介氏と金田一京助氏の作品に対する見解が述べられ、アイヌを題材とするそれまでの作品とは異なり、事件小説ではなく、民族的運命を象徴的に表現したアイヌ絵巻であると示されました。

○今年度も県立図書館との連携事業として「スマカレ関連図書コーナー」が、同図書館2階の閲覧室内に設置されました。

